

産業建設関係

●主たる事業

- △農事組合法人基本計画策定
- △農地・水・環境保全向上支援対策
- △国営土地改良事業償還
- △国土調査(東古泉地区)
- △町道筒井徳丸線道路新設
- △古泉駅改修補助
- △庁舎東地区関連道路路整備
- △(仮)西古泉筒井線道路新設基本計画
- △都市計画マスタープラン策定
- △町営・改良住宅管理



町道筒井徳丸線道路新設

●審査内容の主なもの

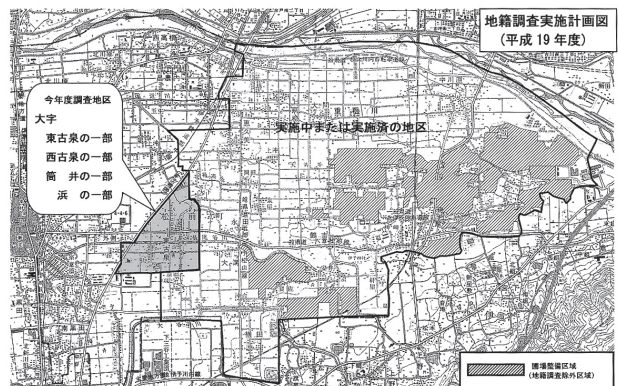
- 問 夏祭り補助金額決定の経緯は。
- 答 行政改革において100万円減額した。不足分は寄附金や商工会で負担しています。
- 問 農地環境保全向上支援事業の内容は。また、地域で活動中に水路補修等が必要になった時はどうするのか。
- 答 農家や非農家が一緒に行う水路泥上げ・草刈りなどの基礎部分と、施設の長寿命につながる誘導部分があります。地域で手に負えないものは別の事業で行うことになります。
- 問 地積調査は今後国道より西の住宅地域を行うが、その時期に課の統合を行って支障ないのか。
- 答 調査は全体の約半分が完了しており、担当者も熟練者が多いので問題ありません。
- 問 庁舎東地区関連道

路整備予算は、歳入に同額の寄附金が計上されているが、当該道路整備に全て充当するのか。事業費が増減した場合はどうするのか。

答 国道との取り付け協議で町道として整備することが条件となり、財源としてフジからの寄附金を計上しています。事業費は概算として見込んでおり、実費負担を原則に考えています。

問 西古泉筒井線道路はフジに通じる道路のようであるが、フジに負担を求める考えは。

答 庁舎西側の町道が狭く防災面での問題など、地域からこれに変わる道路の要望があったもので、単にフジのためだけの道路ではなくフジの負担は考えて



国土調査計画図

いません。

問 古泉駅のバリアフリー化は必要だが、フジ立地による乗降客の増員が見込まれることへの対策であるなら、事業者負担させるべきではないか。

答 今後、当駅に関わらず必要がある場合は伊予鉄道に対し各駅のバリアフリー化を求めていきます。公共交通機関であることから行政が支援する必要があると考えます。